

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	13212
事務事業名	児童総務一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 1
施策目標	少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁	74	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
 子育て支援事業の庶務的な事業の実施。
 私立幼稚園就園奨励費、私立幼稚園運営費補助金の交付

事業の目的
 子育て支援事業を庶務的な役割を果たすこと。

事業内容
 私立幼稚園利用者及び私立幼稚園への支援
 子ども・子育て支援新制度（平成27年4月施行予定）に対応するための「子ども・子育て支援事業計画」の策定。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	51千円	535千円	23,629千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	4,888千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	51千円	535千円	18,741千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	子ども・子育て審議会の開催	回		2	5	8	62.5%	2
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	子ども・子育て審議会の開催	回		2	5	8	62.5%	2
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標 ）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	一部重複	高い	適正である
点数	3	3	3	2	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	子ども・子育て支援を総合的に推進するため、子ども・子育て審議会へ計画案を諮りながら策定を行った。今後は計画に掲げた施策の進捗状況のチェックなど、取り組み状況の確認や変更事項などについて審議する。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	13213
事務事業名	児童手当給付費			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 1
施策目標	少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁	74	頁	個別計画		頁
事業期間	平成24年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 児童手当法

事業の概要
 次代の社会を担う子どもの育ちを社会全体で応援することを趣旨に、一定額の児童手当を支給し、子育て家庭を支援する事業

事業の目的
 子少子高齢化が進行し、3人の現役世代で1人の高齢者を支える現状のなか、子育ての経済的負担を軽減し、安心して出産し、子どもを育てられる社会をつくるために実施

事業内容
 支給額
 3歳未満：15,000円
 3歳以上～小学校終了前：第1子・2子 10,000円 第3子以降15,000円
 中学生：10,000円

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	429,556 千円	403,363 千円	389,923 千円
	国庫支出金	294,318 千円	278,467 千円	269,494 千円
	県支出金	63,611 千円	62,423 千円	60,147 千円
	起債			
	その他財源			
	一般財源	71,627 千円	62,473 千円	60,282 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	児童手当受給者	人	1,878	1,790	1,736	1,750	99.2%	1,750
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	児童手当支給額	円	429,556	403,363	389,790	403,363	96.6%	401,820
②								
③								
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続					
	評価点合計	児童手当法に沿った支給を実施している。				
	18	18				

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	13214
事務事業名	児童福祉扶助費			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 1
施策目標	少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁	74	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
	根拠法令・要綱等 大田市重度心身障害児福祉手当に関する条例、大田市出産祝金支給条例				

事業の概要
 経済的な負担を抱える子育て世代に対し、経済的な支援を行う。

事業の目的
 次代を担う児童の確保を図るため、その出産を奨励祝福して出産祝金を支給し、児童の健全育成に資することを目的とする。

事業内容
 出産祝い金 第1子、第2子・・・50,000円 第3子以降・・・100,000円
 重度心身障害児福祉手当の支給
 障害児施設帰省費等給付金の支給
 育児家庭応援事業・・・3歳児のいる家庭に30,000円の商品券を支給

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	12,793 千円	16,097 千円	19,626 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	12,793 千円	16,097 千円	19,626 千円

指標名		単位	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	前年度（H26） 目標値	達成率 （％）	次年度（H27） 目標値
①	出産祝い金申請人数	人	157	138	147	150	98.0%	180
②	育児家庭応援事業申請人数	人		176	191	200	95.5%	200
③								

1. 数値で表せる指標		単位	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	前年度（H26） 目標値	達成率 （％）	次年度（H27） 目標値
①	出産祝金支給額	千円	9,150	8,850	11,250	9,000	125.0%	12,800
②	育児家庭応援事業支出額	千円		5,250	5,686	6,000	94.8%	6,000
③								
2. 数値で表せない効果 （指標）								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	一部重複	高い	適正である
点数	3	3	3	2	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 17 / 18	出産祝金をはじめとした従来の言っ金給付に加え、育児家庭応援事業による商品券の配布により、子育て家庭の経済的負担の軽減に寄与している。今後、出産祝金についても、その一部を商品券での配布として地域経済活性化の取り組みとしたい。				

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	13216
事務事業名	母子等福祉費			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 1
施策目標	少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁	74	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 児童の養育しながら生計を維持しなければならず、親子ともに社会的・経済的・精神的に不安定な状態におかれがちな一人親に対し、家庭の様態に即した適時適切な支援のもと、自立への道が開かれるよう、ひとり親家庭の自立支援の推進に努める。

事業の目的
 父母の離婚などにより、父又は母と生計を同じくしていない児童を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ること。

事業内容
 児童扶養手当の支給
 母子自立支援員の配置
 福祉住宅の提供（平成23年まで）
 母子寡婦福祉会への支援
 女性相談の実施

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	107,529 千円	98,229 千円	100,021 千円	
	財源内訳	国庫支出金	33,558 千円	31,510 千円	31,682 千円
		県支出金			
		起債			
		その他財源			
		一般財源	73,971 千円	66,719 千円	68,339 千円

指標名		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	児童扶養手当受給者数	人	225	211	203	211	96.2%	210
②								
③								

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	母子家庭	世帯	302	312	311	300	103.7%	300
②	父子家庭	世帯	56	53	52	50	104.0%	50
③								

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	一部重複	高い	適正である
点数	3	3	3	2	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	法に沿った手当支給を実施している。対象者の相談や自立に向けた就労支援など、ハローワークと連携しながら支援を行う。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	13218
事務事業名	家庭児童相談室事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 1
施策目標	少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁	74	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
	根拠法令・要綱等 児童扶養手当法、大町市家庭児童相談室設置規則				

事業の概要
家庭児童相談員を配置し、家庭における様々な悩みを抱えた方々の相談を受ける。

事業の目的
家庭児童福祉に関する相談指導業務を充実強化するため。

事業内容
家庭児童相談員がトラブルや悩みを抱えた相談者からの相談を受けるとともに、状況に応じて関係機関に繋ぎながらケース会議を行い、家庭環境の改善を図る。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	3,992 千円	4,022 千円	4,029,590 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	3,992 千円	4,022 千円	4,029,590 千円

指標名		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	相談件数		803	833	841	850	98.9%	850
②								
③								

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

2. 数値で表せない効果
（指標 ）各家庭の持つ課題などに相談、支援を実施することにより、家庭、学校における児童の健全育成につながっている

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 18 / 18	家庭児童相談員、母子自立支援員、女性相談員の連携と教育員会の学校境域指導主事、キャリア教育支援員との情報共有や連携により、各家庭の状況に合った相談、支援を実施していく。				

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	13219
事務事業名	療育事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 1
施策目標	少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁	75	頁	個別計画		頁
事業期間	平成24年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 大田市障がい児通園施設利用児療育支援事業実施要綱

事業の概要
 ・巡回相談・・・児童心理発達専門相談員を確保し、保育園等の巡回相談を実施する。
 ・生活技能訓練・・・市が実施する当事業の該当者が多く、マンパワー不足から十分にニーズに応えられない現状である。このため、児童発達支援センターへの事業委託により、訓練の機会を拡充し、必要な児童が訓練を受けられるようにする。

事業の目的
 5歳児相談による発達障害児の早期発見と、児童及び保育者や保護者に対する巡回相談の実施に、社会適応を促すための生活技能訓練の機会を拡大により、発達障害の二次的障害と考えられる不登校や引きこもり、反社会的行動に及ぶ児童の発生を未然に防ぐために実施。

事業内容
 ・5歳児相談・・・年中児童及び保護者を対象とした発達相談の機会を設け、発達の偏りを発見し、個々に必要な保育環境を用意すると共に、就学に向けた準備を行う。
 ・巡回相談・・・児童心理発達専門相談員を確保し、保育園等の巡回相談を実施する。
 ・生活技能訓練・・・市が実施する当事業の該当者が多く、マンパワー不足から十分にニーズに応えられない現状である。このため、児童発達支援センターへの事業委託により、訓練の機会を拡充し、必要な児童が訓練を受けられるようにする。

事業費	年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	総事業費（決算額）		5,394千円	4,887千円	4,408千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	1,470千円	1,800千円	103千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		3,924千円	3,087千円	4,305千円	

活動指標	指標名		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	実施人数	198	186	179	200	89.5%	160
	②							

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	実施率	90.8	92.1	92.7	95	97.6%	95
	②							

2. 数値で表せない効果
 （指標）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	3	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	継続	巡回相談の実施により、対象児童の早期発見と支援が行われる。対象児童については生活機能訓練を実施し、社会生活へ適応できるよう事業を実施している。					
	評価点合計						

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	132110
事務事業名	こんにちは赤ちゃん事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 1
施策目標	少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁	74	頁	個別計画		頁
事業期間	平成25年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要
市においても少子高齢化、核家族化が進行していることから、新生児を抱える家庭に対し、主任児童委員、民生児童委員による訪問を行い、子育てに関することや相談窓口情報を提供する。

事業の目的
育児に関する不安や悩みの傾聴・相談、子育て支援に関する情報提供を行うことで、育児中の母の孤立化や児童虐待等を事前に防止する。

事業内容
主任児童委員、民生児童委員がペアとなってプレゼントを持参し、地域としてのお祝いの気持ちを伝えるとともに、地域との関わりを持ってもらうため、児童センター等で行う子育てに役立つ情報や相談窓口を紹介する。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	千円	116千円	117千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	28千円	28千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	千円	88千円	89千円

		平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
活動指標	① 訪問件数	件	21	80	30	266.7%	100
	②						
	③						

1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—

2. 数値で表せない効果
（指標 ）民生児童委員、主任児童委員が担当地域の子どもの所在を知るきっかけとなり、地域の子育て支援の一助となる。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	高い	一部重複	普通	適正である
点数	3	2	3	2	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	出生児に対する訪問は、保健センターの保健師による訪問が実施されていることから、保健師の訪問は医療、こんにちは赤ちゃん訪問は子育て支援のための情報提供などを、様々な支援を実施している。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	132111
事務事業名	子育て世帯臨時特例給付金事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 1
施策目標	少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁	74	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
児童手当受給者を対象として、1子あたり10,000円を給付する

事業の目的
子育て世帯の経済的負担の軽減

事業内容
児童手当受給者に対し、公務員も含め1子あたり10,000円を支給する。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	千円	千円	31,211 千円
	国庫支出金	千円	千円	31,669 千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	千円	-458 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	支給児童児童数	人			2,909	2,700	107.7%	—
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	支給率				107.7	100	107.7%	—
②								
③								

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	国の方針により、支給漏れが無いよう対象者への周知等を行い、今後も同様な給付があった場合には適切な支給を実施する。				
	評価点合計	14	18				

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	13221
事務事業名	児童センター管理費			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 1
施策目標	少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁	74	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等 児童福祉法

事業の概要
 子育て支援をはじめ、さまざまな相談事業、サークル利用、センター利用、西小児童クラブ、休日保育、病後児保育事業など多くの機能を持った施設です。
 年間さまざまな行事、講座などを通し遊びの場を提供しています。
 今後、児童の健全育成の充実に児童センターが果たす役割は大きく、児童の心身健全育成のための施設として益々重要になってくると考えられます。

事業の目的
 遊びを通じての集団的・個別的指導 母親クラブ等の地域組織活動の育成・助長 健康・体力の増進
 放課後児童の育成・指導 年長児童の育成・指導 子育て家庭への相談 等

事業内容
 「プレールーム」・・・児童の体力増進、音楽や文化に触れあうための事業を実施
 「創作活動ルーム」・・・モノづくりを通じ創作力を養うための事業を実施
 「クッキングルーム」・・・栄養、食育指導指導や料理教室などを実施

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	1,680 千円	1,456 千円	2,085 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	1,680 千円	1,456 千円	2,085 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	開館日数	日	359	359	359	359	100.0%	359
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用者数	人		10,809	11,284	11,000	102.6%	15,000
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標 ）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	一部重複	高い	適正である
点数	3	3	3	2	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	児童センターにおいて、従来の児童館機能に加えて子育て支援センターやファミリーサポートセンター、児童クラブを併設し、様々な子育て支援を展開している。今後は、子育て全般の相談等に対応できる子育てコンシェルジュの配置を検討したい。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	13222
事務事業名	児童遊園地管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 2
施策目標	少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等 大田市こどもの遊び場設置事業補助金交付要綱					

事業の概要
 児童の健全育成をはかるため、市営児童遊園地及び運動広場の整備を図り、更に地域で設置する町内遊園地に補助金を交付する。

事業の目的
 交通事故や水難事故などから児童を守るとともに、児童の健全育成をはかること。

事業内容
 児童遊園地及び運動広場の維持管理の実施。
 敷地内への遊具の設置、修繕及び老朽化した遊具の撤去に要する費用に関する補助金交付。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	130 千円	2,221 千円	930 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	130 千円	2,221 千円	930 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	補助金申請件数	件	2	2	2	100.0%	2
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	補助金交付実績	円	2,100	378	300	126.0%	500
②							
③							

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	新たに子どもの遊び場として遊園地を整備する際に補助金を活用し行われている。今後も継続して実施し、身近な遊びの場の整備に活用していただく。市で所有する児童遊園地は、自治会の協力により管理しているが、遊具の老朽化による修繕など安全対策を実施しながら継続する。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	13223
事務事業名	子育て支援センター事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 2
施策目標	少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁	74	頁	個別計画		頁
事業期間	平成18年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 児童福祉法、大田市子育て支援センター事業実施要綱

事業の概要
 地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、子育て家庭の支援活動の企画、調整、実施を担当する職員を配置し、子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援などを行う。並びに家庭的保育を行う者への支援などを実施することにより、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。

事業の目的
 児童を養育する家庭に対する支援に係る相談、援助の企画及び調整を行うとともに、家庭児童福祉に関する相談及び指導を行い、児童の健全な育成を図る。

事業内容
 「子育て支援センター事業」子育て中の親子を中心に情報交換の場の提供、子育てセミナー、子育て講座、子育て相談を実施。
 療育事業「あそびの部屋」健診後の経過観察児で、教室への参加により遊びをとおして、子どもの成長を発見し育児に前向きに取り組めるよう、保育士、家庭相談員、心理相談員、保健師が関わり事業展開をしている。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	3,903 千円	3,942 千円	4,291 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	3,903 千円	3,942 千円	4,291 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
①	事業参加者数	人	773	777	1,571	800	196.4%	800
②								
③								

成果指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
①	利用者数	人	9,652	9,783	8,271	10,000	82.7%	10,000
②								
③								
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	一部重複	高い
点数	3	3	3	2	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続				
	評価点合計	17 / 18 児童センター事業と連携を図り、子育て支援を実施していく。				

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	13224
事務事業名	母子通園施設費			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 2
施策目標	少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁	74	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等 大町市中心障害児母子通園訓練施設設置及び管理に関する条例					

事業の概要
心身の発達に支援を必要とする乳幼児を対象に、母又は保護者とともに通園させて、機能回復訓練及び生活指導を行う。

事業の目的
母又は保護者とともに心身の発達に支援を必要とする乳幼児が、家庭的な温かい雰囲気の中で楽しく心身自立機能訓練を行うことにより、集団生活移行への準備を行うことを目的とする。

事業内容
毎週3回（月・水・金）、通園し保育士等の指導の下、心身自立機能訓練を行う。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	3,107 千円	3,181 千円	4,896 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	504 千円	720 千円
	一般財源	3,107 千円	2,677 千円	4,176 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 入所児童数	人	2	9	12	6	200.0%	10
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 （指標 ）障がいを持つ児童の機能回復訓練及び生活指導を経済的な負担が無く受けられることで、保護者の心理的な負担も軽減されている。また、利用者同士の交流により孤立化の解消に役立っている。							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 18 / 18	発達障がいをもと子どもの受け入れが主になってきており、スペース的に手狭でありると同時に、対応できる児童数が限られることもあり、人員配置とスペース確保が今後必要と思われる。				

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	13225
事務事業名	児童クラブ運営事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 2
施策目標	少子社会に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
	根拠法令・要綱等 大田市児童クラブ事業実施要綱				

事業の概要
就労等により保護者が不在となる小学生児童の保護及び健全育成を図るために市内小学校区に6つの大田市児童クラブを設置し、運営している。

事業の目的
就労等により下校後及び長期休暇において、保護者の不在となる小学校児童の保護及び健全育成を図る。

事業内容
大田市立大町東小学校通学区 東小児童クラブ
大田市立大町南小学校通学区 南小児童クラブ
大田市立大町西小学校通学区 西小児童クラブ
大田市立大町北小学校通学区 北小児童クラブ
大田市立八坂小学校通学区 八坂小児童クラブ
大田市立美麻小学校通学区 美麻小児童クラブ

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	21,659 千円	19,738 千円	21,363 千円
	国庫支出金			
	県支出金	13,358 千円	13,158 千円	12,703 千円
	起債			
	その他財源	419 千円	411 千円	418 千円
	一般財源	7,882 千円	6,169 千円	8,242 千円

指標名		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	登録児童数	人	419	413	418	400	104.5%	350
②								
③								

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—
2. 数値で表せない効果		（指標 ）小学1年から6年生までの受け入れを行っており、共働き家庭等の子育て支援となっている。						

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続	少子化により登録児童数は減少が見込まれるが、利用者は増加傾向にある。また、発達障がいを持つ児童やその疑いのある児童も原則的に制限を設けずに受け入れを行っており、今後も同様に継続して実施していく。また、開所時間の拡大についても、保護者会等の意見を聞きながら、保護者の費用負担の在り方も含め検討を行う。				
	評価点合計	18	18			

事務事業評価表

担当課	民生部	子育て支援課	児童係	事務事業No.	13232
事務事業名	保育所管理運営事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	3 項 2 目 3
施策目標	少子高齢化に対応した子育て支援・児童福祉の充実				
後期計画掲載頁	74	頁	個別計画	大町市次世代育成支援対策行動計画	24 頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
	根拠法令・要綱等 児童福祉法・保育所設置及び管理に関する条例ほか				

事業の概要	保育に欠ける児童の保育を行うために必要な施設の維持管理・運営を行う。
事業の目的	保育所において就学前の保育に欠ける児童の保育を行うことで、保護者に対する子育て支援、就労等との両立に向けた支援を行う。
事業内容	市内に居住する保育に欠ける児童の預かり保育を実施するとともに、園開放の実施のほか、保育時間の延長、休日保育、一時保育等の子育て支援事業の実施と、適正な保育体制の確保、施設の維持管理を行う。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	233,335 千円	230,954 千円	268,568 千円	
	財源内訳	国庫支出金	4,866 千円		2,270 千円
		県支出金	361 千円	4,373 千円	2,330 千円
		起債			
		その他財源	134,952 千円	131,745 千円	126,284 千円
		一般財源	93,156 千円	94,836 千円	137,684 千円

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
活動指標	① 保育所数	8	8	8	8	100.0%	8
	② 開所時間	11:30	11:30	11:30	11:30	100.0%	11:30
	③ 保育所定員	740	740	740	740	100.0%	740

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
成果指標	① 保育所入所児数	539	539	525	539	97.4%	525
	② うち3歳未満児数	94	101	132	101	130.7%	132
	③ 定員に対する入所率	72.84	72.84	70.95	72.84	97.4%	70.95
2. 数値で表せない効果		(指標)					

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 定員に対する入所児数が70%台に留まっていること、老朽化が進んでいる施設があるから、総合的に施設のあり方について検討を進める必要がある。
 全体の受入児数は減少傾向にあるもののクラス数の減少とまでは至っていない。また、3歳未満児が増加傾向にあること、発達障がい等により補助員の配置が必要な児童も増加傾向にあることなどから、保育士の確保が課題となっている。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	高い	普通	重複なし	低い	改善の余地あり	
点数	3	3	2	3	1	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	やり方改善	保育士を安定的に確保、特にクラス担任を担当する保育士は近年不足した状態のままであり改善の見込みが立たない状況のため、新たな取り組みが必要と考える。 施設のあり方検討については、特に老朽化が著しいかえで保育園の取り扱いについて、早急に検討を進める必要がある。				
	評価点合計	14	18				